

平成25年(2013年)

2月1日

第17号

躍 動

(江東区体育協会だより)

—編集・発行—

江東区体育協会

〒135-8383

江東区東陽4-11-28

江東区スポーツ振興課内

TEL 3647-4887

第65回都民体育大会 男女とも総合5位

都民体育大会が、昨年8月から夏季、冬季、春季大会と今年の6月まで行われました。江東区は、男女とも総合5位、優勝した競技は6種目、第2位は2種目と健闘しました。それぞれの競技の選手の皆さんの活躍を紹介します。

— 都民駅伝大会優勝 —

都民駅伝大会が3月11日に都立武蔵野森公園にて開催され見事優勝しました。



《監督 望月 晃》

1区の渡辺選手がトップと差のない8位で2区へ。2区の吉田選手はトップをねらう勢いでチーム内最高タイムで3位に上がり3区へ。3区の熊沢選手はやや不安があったが3位をキープする好走で4区へ。ここからが勝負と考えていた通り、4区の大熊選手がトップに躍り出ました。5区の河野選手が2位以下を大きく引き離し6区へ。アンカーの平野選手はやや本調子にかけるところがありましたが、最後まで逃げ切り優勝することができました。

これも江東区と江東区陸上競技協会の力強い協力があればこそ。本当にありがとうございました。

参加選手の記録は以下の通りです。

1区	渡辺 修	15分47秒 (区間8位)
2区	吉田 潤	15分44秒 (区間2位)
3区	熊沢 浩正	16分31秒 (区間7位)

4区	大熊 啓史	15分46秒 (区間1位)
5区	河野 陽一	15分55秒 (区間1位)
6区	平野喜太郎	17分31秒 (区間11位)

軟式野球競技「佐川急便関東」優勝 昨年に続き2連覇

江東区軟式野球連盟 理事長 下高山 春造

区内新砂に所在する佐川急便(株)東日本支社の佐川急便関東野球部は、第65回都民体育大会軟式野球競技で優勝、昨年に続き2連覇しました。平成25年開催「スポーツ東京2013」軟式野球競技の東京選抜チーム「ALL TOKYO」に参加している5人を欠く中、準決勝では全試合を完封で勝ち上がっている足立人(足立区)をクリーンアップ井野・加藤田・藤澤の連打、山口、幸田両投手の好投により、6対0の完封勝利。決勝では、4番加藤田、投手狩浦の活躍により東芝情報機器(株)(品川区)に5対1で勝利しました。

来年も3連覇達成に向けがんばり、江東区念願の総合成績1位を目指したいと思います。



対 戦 成 績

1回戦	シード	
2回戦	経堂農大通り野球クラブ(世田谷区)	2-1
3回戦	フィーンズ(日野市)	1-0
4回戦	マミーズ(杉並区)	1-0
準決勝	足立人(足立区)	6-0
決 勝	東芝情報機器(株)(品川区)	5-1

☆都民陸上競技大会☆ 男子優勝、女子2位

陸上競技協会 熊原 誠一

今年度の都民陸上大会は、6月3日(日)に駒沢陸上競技場にて開催されました。江東区選手団は、男子21名のエントリー中、16名が出走して、15名が入賞し、総合優勝しました。

また、女子は10名のエントリー中7名の出走者全員が入賞し総合2位となりました。

以下に種目ごとの入賞者を報告します。

成 績	
[男子]	
100m 1位	長堀 光 2位 芳賀智文
200m 1位	小滝将太
400m 2位	前田貴也 7位 古藤鉄平
800m 4位	渡邊 修 5位 西野輝一
1500m 2位	中野綾介 8位 熊沢浩正
5000m 6位	河野陽一
400mリレー1位	中山水麗・芳賀智文・ 長堀光・小滝将太
走り幅跳び 1位	石見源太郎
三段跳び 2位	丸山弘貴
砲丸投げ 4位	山田龍聖 5位 諸星智哉
やり投げ 2位	大野克太
[女子]	
100m 1位	東海由佳 3位 大野真由美
5000m 5位	鈴木美沙都
400mリレー3位	一瀬星空・東海由佳・ 松田紗弥・大野真由美
走り高跳び 1位	松田紗弥
走り幅跳び 3位	一瀬星空
砲丸投げ 2位	田中悠子
やり投げ 2位	根川紗季



今回の好成績については、大会に出場し活躍してくれた選手諸君のおかげであり、江東区陸上競技協会としては、今後も都民陸上大会に出場し、選手の発掘と育成に努力してまいります。

☆なぎなた連盟☆ 大会4連覇達成!!

江東区なぎなた連盟 理事長 谷本 良子

この度の都民大会にて、選手のがんばりにより、4連覇を果たすことができました。選手たちは優勝へのプレッシャーを感じながらも、一戦一戦を確実に勝利してきました。団体戦であるため、先鋒



出場選手 写真左から川崎、谷本、小山、田口、中里

から中堅、大将へと勝ちたい気持ちを一回戦から決勝まで繋ぎ、相手に惑わされることなく、自分の試合ができたことに勝因があったのだと思います。これからもなぎなたができることに感謝し、より精進してほしいと思います。

対 戦	成 績
1回戦	世田谷区 3-0
2回戦	目黒区 3-0
準決勝	東村山市 3-0
決 勝	調布市 3-0

☆都民ボウリング大会優勝☆

江東区ボウリング連盟 理事長 杉田新二

ボウリング競技は、5月27日(日)調布スポーツセンターにおいて、都内23の市区町村が参加し、3人チーム戦で1人6ゲームの合計、18ゲームの合計得点で争われました。当区の代表チーム(梅木・石崎・杉田)は前半3ゲームをトップと120点差の入賞ライン「ぎりぎり」の7位で終了しました。しかし後半に入り、現在、東京都ボウリング連盟の中心的選手であり、国体準優勝の経験もある、梅木孝宏選手が3ゲーム合計780点という驚異的なスコアを叩き出し、2位に約40点の差をつけ、十数年ぶりに、二度目の優勝を達成致しました。



☆都民大会優勝☆

都民バトミントン大会 女子の部優勝

女子チーム監督 笹田麻耶

平成24年5月13日、稲城市総合体育館にて開催されました都民大会において、江東女子チームが優勝を果たしました。都民大会 65年の歴史において初優勝を飾ることができました。対戦相手は、西東京市、葛飾区、豊島区、武蔵野市、決勝戦は過去に何度も優勝経験のある強豪台東区で、決勝戦ではファイナルセットまでもつれ込む大接戦でした。優勝が決まった瞬間、歓喜のあまり選手全員で抱き合い涙を流しました。6月10日には、墨東五区大会で男子チームが優勝を果たし、7月20日には山崎江東区長も駆けつけてくださり、盛大なる祝賀会が開催されました。江東区は大会の成績だけでなく、体育協会のご協力も東京都一位です。協会のご支援ご鞭撻なくしてこの優勝はあり得ません。選手一同大変感謝しております。

皆様からいただいたご声援にお応えできるよう、今後も一致団結、皆で頑張っていきます。



活躍した選手の紹介

笹田麻耶(監督)、岡林麻貴子(キャプテン)
望田めぐみ、土谷優美、松谷裕子、久保田美和
土橋朝生、鈴木裕美、和田しおり

☆都民サッカー大会 準優勝☆

江東区サッカー連盟 一般代表監督 荒木拓郎

我々の今大会の目標は、「1試合でも多く皆でサッカーをしよう」ということでした。

今大会でチームとして一番絆が深まった試合が準決勝の大田区戦でした。

前半1点リードするも、その直後キーパーが退場になり、一人少ない10人となってしまい、すぐに逆転されました。

さすがに一人少なくキツイけれど、選手たちはまだ諦めていませんでした。

前半終了間際に同点に追いつき、後半はいつ点数が取られてもおかしくない状況で、ラストにチャンスが訪れて逆転勝利をおさめ、決勝戦に駒を進めました。決勝戦は先に1点リードするも逆転されて、準優勝で今大会は終わりましたが、メンバーみんなファイナルまで進めたこと、目標である1試合でも多くサッカーをすることが達成できました。

そして今は、何よりも監督である自分について来てくれたチームメイトに感謝の気持ちでいっぱいです。これから先もよいチームになるように頑張っていきたいと思います。

対 戦 成 績

1回戦	荒川区	4-3
2回戦	新宿区	4-1
3回戦	品川区	5-3
準決勝	大田区	3-2
決 勝	調布市	1-2



少・中学生の活躍

区小学校連合運動会 女子1000m、女子50mハードル で大会新記録!

10月17日、夢の島競技場で区内小学校44校の6年生が全員参加して、連合運動会が開催されました。女子1000m走の部で越中島小学校の五日市莉歩さんが3分19秒2で、また、女子50mハードルの部では、第二砂町小学校の中村なつみさん、第五砂町小学校の沢辺日和さんが8秒3で大会新記録を達成しました。

「応援が力になった1000m走」

越中島小学校6年 五日市 莉歩

応援の声がすごくて、びっくりした。心臓からドクドクという音が聞こえてきそうだった。

電光掲示板に「女子1000m走」の文字が光り、私はいつの間にかコースに立ち、走り出していた。土の上と違って、走っている感覚がすごく良くて、体が軽く感じた。ペースが落ちそうになった時に、皆の応援の声が聞こえてきて、それが大きな力になった。ゴールした時、のどと足がすごく痛かった。息もハーハーいっていた。でも記録を聞いてすごく達成感があった。練習中に走るのが嫌になった時もあったが、今までやってきて良かったと思えた。いろんな人が、おめでとうと言ってくれて嬉しかった。

私は、皆が応援してくれたおかげで、悔いのないレースができたということを忘れないようにしたい。



「喜び合った50mハードル新記録」

第二砂町小学校6年 中村 なつみ

私は、9月ごろからハードルの練習を始めました。ほとんど毎日、朝、放課後、体育の時間に練習しました。先生が教えてくれたことを実行することが難しく、なかなか記録が伸びなくてあきらめかけたときもありました。それでも先生が毎日毎日、全力で教えてくれたおかげで、少しずつだったけれど、タイムが縮んできていたのがうれしかったです。当日の朝はとても調子がよく、学校での最終確認の練習もよい状態で終わることができました。本番、緊張しながら走りました。いつもより速く走れた気がしました。



結果は、8秒3で大会新記録。すごく胸がドキドキして先生と喜び合いました。

「練習の成果が出た50mハードル」

第五砂町小学校6年 沢辺 日和

私は、連合運動会がとても楽しみでした。その大会でできるだけ良い記録を残すためにたくさん練習しました。まず、初めての練習の時にハードルのふり上げ足、ぬき足をひたすら練習しました。また、ふみ切る場所も感覚がつかめるまで毎時間練習しました。そして20分休みには校庭を走ったり、腹筋、背筋運動などをしたりして体をきたえました。当日、私は全校集会で1～5年生の前でハードルを見せました。このとき少し緊張がほぐれたので良かったです。夢の島競技場でのハードルは集会のおかげで、あまり緊張しないで練習してきたことを思い出して、全力を出すことができました。記録が「8秒3、一位」と表示され、大会新記録を出せてとてもうれしかったです。



☆東京都中学校サッカー大会☆

深川第四中学校 第4位!!

都中学校サッカー大会が7月23日から、葛飾区総合スポーツセンター、駒沢公園総合運動場などで開催されました。深川四中は、区の代表として参加し、見事準決勝まで進み、第4位と素晴らしい成績を残しました。

—We are Fuka4—

深川第四中学校サッカー部 顧問 鍋島 將起

55人の部員、3人の顧問、5人のコーチ、1人のトレーナー、そして保護者と共に活動してきた結果、夏季総合体育大会において4位という成績を残すことができました。猛暑の中、連戦で大変でしたが、都大会準決勝まで進むことができました。今年度、特に苦勞したことは練習場所や時間を確保することです。実践的なトレーニングをミーティングの回数や映像分析で補いました。全員で戦術を共通理解し、良い準備をしたことが好成績につながりました。今後も「We are Fuka 4」を常に意識し、チームで戦っていきたいと思います。

対 戦 成 績		
1回戦	国分寺市立二中 (PK戦)	2-2 4-3
2回戦	学芸大学付属国際中	2-0
3回戦	駿台学園中	2-1
準々決勝	稻城市立六中	3-2
準決勝	嘉悦有明中 (延長戦) (再延長戦)	1-1 0-0 0-1
三位決定戦	東京朝鮮中級学校	2-3



☆「関東中学校水泳競技大会」☆

於 川口市青木町公園総合運動場プール
(100m平泳ぎ 第7位)

大島中学校2年佐藤 雄太

予選では、前半から行くと決めていたが、後半で失速してしまっただけで、ギリギリ決勝に残ることができた。決勝では、順位とタイムを上げようとして臨んだが力んでしまい、予選よりもタイムを落としてしまった。ただ、他の選手もあまりタイムが伸びず、7位に入賞することができた。泳ぎに関しては満足してないが入賞できてよかったと思う。来年は、関東大会ではなく全国大会に出場し、江東区にメダルを持って帰りたいと思う。



予選では、前半から行くと決めていたが、後半で失速してしまっただけで、ギリギリ決勝に残ることができた。決勝では、順位とタイムを上げようとして臨んだが力んでしまい、予選よりもタイムを落としてしまった。ただ、他の選手もあまりタイムが伸びず、7位に入賞することができた。泳ぎに関しては満足してないが入賞できてよかったと思う。来年は、関東大会ではなく全国大会に出場し、江東区にメダルを持って帰りたいと思う。

「全国中学校水泳競技大会で入賞」 緊張した全国大会

(200m自由形 第8位 2分07秒31)

深川第二中学校 2年 永田 百

私は8月22日、栃木県立温水プール館で行われた全国中学校水泳競技大会に参加し、200m自由形で8位に入賞することができました。大会出場が決まってからは、決勝に残りたいという思いで一生懸命練習に励みました。大会本番の予選は、自分らしい泳ぎができ決勝に残ることができました。決勝では場の雰囲気がいいつもと違い、今まで以上に緊張し、順位は上げられませんでした。来年は優勝できるように頑張ろうと思いました。



連盟紹介

ラジオ体操連盟会長 小堀 義矩

最近のラジオ体操が、大きな話題として取り上げられています。たぶんラジオ体操による健康面についてだと思います。郵政省が簡易保険局をつくり政府の行事として生命保険を取り入れることになったからです。

当時国内では、結核や伝染病など死亡率が高く、国民の福祉増進と経済性安定のため、まず国民の健康のことを考え、目標としてアメリカの保険会社の「ラジオ放送による体操」を参考に、体操で先進国である北欧へ調査に出かけ、取り入れることになりました。

昭和3年に始まり第二次世界大戦敗戦までラジオ体操が大々的に行われましたが、敗戦でGHQより団体行動禁止令で廃止、昭和23年に始まりですが食べることが精一杯で自然消滅しました。昭和26年に第一体操が、27年に勤労者向けに第二が始まりました。その後高齢者、身体不自由者向けの「みんなの体操」が平成9年に始まり、公園などで元気いっぱいラジオ体操が行われております。

みんなの関心がラジオ体操に移り、新聞やラジオ、テレビ、雑誌で報じられることになったのだと思います。全国ラジオ体操連盟が、認定で一級、二級、指導士の三階級試験を実施し、合格者が各会場の指導者として活躍しております。

私たち江東区ラジオ体操連盟では、「早寝、早起き、ラジオ体操、朝ごはん」を合い言葉に、800人を超える会員が、ラジオ体操を通して区民の体育向上と社会体育の振興を図る事を目的とし活動し、正確な体操ができるよう努力しています。正確な体操をすることで体のために大変よい結果が得られるから指導者をよく見て体操することがよい結果となります。

日本中の皆さんが健康のためにラジオ体操を継続して行い、医療費、看護費が大幅に減少するよう続けられることを念じます。



第66回江東区民体育大会 優勝者・チーム

4月1日から10月30日までに終了した競技の優勝者・チームは以下のとおりです。

●軟式野球	
小学生の部	越中島ブレイブス
中学生の部	七北クラブ
一般の部	東京ヤングーズ
●ソフトテニス	
一般男子1部	田部井・貴田組
一般男子2部	落合・中澤組
一般女子の部	和田・大島組
シニア男子45歳以上の部	川村・鈴木組
シニア女子45歳以上の部	高田・角田組
シニア男子60歳以上の部	服部・米山組
●ハンドボール	
一般男子の部	H. C. GEKOKUZYU
●ボウリング	
一般男子の部	河瀬 誠
一般女子の部	荻野 サヨ子
●柔道	
幼年・小学1年の部	稲山 惺也
小学2年の部	小原 徹哉
小学3年の部	荒井 優輝
小学4年の部	吉岡 麟之介
小学5年の部	樋口 綾太
小学6年の部	新開 壽来
中学1年の部	若林 映樹
中学2年の部	揚原 崧聖
中学3年の部	島田 健一
一般段外の部	中林 義晴
一般初段の部	吉野 智裕
一般二段の部	小島 健太郎
一般三段の部	万丈 嘉高
小学5・6年女子の部	赤池 みなみ
女子中学	渡會 美咲
●空手道	
形試合	
幼年の部	山下 桜来
小学生低学年の部	宮下 大和
小学生中学年の部	山口 流綺亜
小学生高学年の部	原沢 孝佳
中学生の部	芝本 航矢
組手試合	
幼年の部	山下 桜来
小学生低学年の部	大場 照秋
小学生中学年の部	寺岡 瞭
小学生高学年の部	原沢 孝佳
中学生の部	伊藤 博樹
一般有級の部	田村 光
一般有段の部	木下 源龍
団体の部	一友会A
●テニス	
一般男子の部	守本 光伸
一般女子の部	松井 キミヨ
壮年男子の部	中井 敏夫
壮年女子の部	染谷 トシ子
●サッカー	
少年の部	FC大島
一般男子の部	WILD GUYS
●ゲートボール	
一般の部	深川
●卓球	
一般男子の部	田島 裕之
一般女子の部	山際 咲子
セミシニア男子の部	藤野 昭二
セミシニア女子の部	藤井 由美
シニア男子の部	木梨 博和
シニア女子の部	久保 登志子
ベテラン男子の部	菅野 智光
ベテラン女子の部	桂 正子
スーパーベテラン男子の部	小野寺 昌勝
スーパーベテラン女子の部	松島 清子

●バドミントン (ダブルス)	
一般男子1部	代田・竹林組
一般男子2部	小池・菅根組
一般男子初級の部	畑中・安部組
一般女子1部	山崎・若月組
一般女子2部	齊木・藤吉組
一般女子初級の部	宋戸・関組
壮年男子の部	山村・阿佐野組
壮年女子の部	持田・松谷組
●バレーボール	
9人制一般男子の部	三砂
9人制一般女子の部	深三
家庭婦人の部	葵
6人制一般男子の部	MARS
6人制一般女子の部	深三
小学生の部	ブルーライトニング
●ソフトボール	
一般男子の部	三幸ブレイブス
家庭婦人の部	東雲サリーズ
中学女子の部	大島西中学校
壮年の部	ニューウェーブB
●なぎなた	
試合競技 有段の部	谷本 由香里
試合競技 段外の部	金野 夏月
演技競技 有段の部	中蔵 初音・谷本 由香里
演技競技 段外の部	金野 碧・田中 里彩
●ゴルフ	
男子の部	北村 幾政
男子ベストグロス	田中 誠
女子の部	金 京順
女子ベストグロス	金 京順
●ビーチボール	
男子の部	ブラックローズ
混合の部	ゴールデンボンバー
女子15歳以上の部	MBCヴィーナス
女子40歳以上の部	ウェンズデーA
小学生低学年の部	にじいろ☆スター
小学生高学年の部	ななすぼキッズ
●ダンススポーツ	
区長杯	高井 保・高井 幸江
中級戦スタンダード	石谷 智之・松田 花穂
中級戦ラテン	清水 郁美・村杉 明子
初級戦スタンダード	影山 俊介・石渡 久美子
初級戦ラテン	影山 俊介・石渡 久美子
ビギナー戦スタンダード	八巻 英雄・平岡 眞佐子
ビギナー戦ラテン	八巻 英雄・平岡 眞佐子
小学生の部スタンダード	境 みゆ・松方 和深
小学生の部ラテン	三浦 陽子・境 みゆ
●クレール射撃	
トラップの部A	堀 洋通
トラップの部B	東山 實
トラップの部C	栗原 章雄
スキートの部A	牛島 哲夫
スキートの部B	稲見 猛
スキートの部C	中里 弘
●弓道	
団体の部	飯島 正大
男子の部	長谷川 雅亮
女子の部	吉澤 瑞恵
新人の部	原戸 真子
中学生の部	門井 健太
高校生の部	佐藤 鈴華
●ふな釣	
個人の部	小笠原 明男 (杉友会)
団体の部	漁川 海
●バスケット	
一般男子の部	S・H・U
一般女子の部	B・JUICE
●ハンドボール	
一般男子の部	H・C・G

●水泳 (大会新記録◎)				
小学生男子の部				
自由形	50m	清水 真央	(枝川小)	30"86
自由形	100m	山林 聖	(二亀小)	1'17"77
平泳ぎ	50m	井原 梨玖	(水神小)	37"43
バタフライ	50m	早々木 信	(南陽小)	33"32
背泳ぎ	50m	早川 太陽	(毛利小)	36"36
リレー	200m	枝川小		2'15"28
メドレー	200m	枝川小		2'37"77
中学生男子の部				
自由形	50m	曾根 裕太	(三亀中)	◎26"42
自由形	100m	曾根 裕太	(三亀中)	58"55
平泳ぎ	100m	長倉 豊	(深川三中)	◎1'09"15
バタフライ	100m	岩見 新作	(四砂中)	1'07"24
背泳ぎ	100m	坂本 陸	(深川二中)	1'06"04
リレー	400m	深川三中		4'26"03
メドレー	200m	深川三中		◎2'00"56
高校生男子の部				
自由形	100m	仲子 大起	(墨田工業高)	1'00"07
平泳ぎ	100m	衣笠 一喜	(科学技術高)	1'17"39
バタフライ	100m	神尾 翔真	(科学技術高)	1'18"90
背泳ぎ	100m	橋本 航太	スイムチームVIP	1'11"59
リレー	400m	都立科学技術高等学校		4'23"02
メドレー	200m	都立科学技術高等学校		2'12"63
一般男子の部				
自由形	50m	稲澤 克俊	(JSC)	24"83
自由形	100m	中村 哲也	(HST)	59"78
平泳ぎ	50m	飛田 貴基	(深川海豚)	31"85
平泳ぎ	100m	飛田 貴基	(深川海豚)	1'12"33
バタフライ	50m	稲澤 克俊	(JSC)	26"86
背泳ぎ	50m	杉田 義貴	(JSC)	30"67
リレー	200m	深川海豚		1'47"77
メドレー	200m	深川海豚		2'02"03
小学生女子の部				
自由形	50m	武田 恵奈	(三砂小)	31"89
自由形	100m	上野 水緒	(二亀小)	1'13"51
平泳ぎ	50m	浅賀 ひかり	(小名木川小)	39"02
バタフライ	50m	奥富 有沙	(五砂小)	35"12
背泳ぎ	50m	村上 彩音	(平久小)	36"66
リレー	200m	五砂小		2'16"06
メドレー	200m	五砂小		2'29"30
中学生女子の部				
自由形	50m	永田 百	(深川二中)	◎28"37
自由形	100m	松竹 凜子	(深川三中)	1'02"65
平泳ぎ	50m	奥田 梨乃	(深川八中)	36"80
バタフライ	50m	野上 遥香	(深川三中)	31"86
背泳ぎ	50m	野上 遥香	(深川三中)	34"84
リレー	200m	深川三中		2'16"07
メドレー	200m	深川三中		2'32"22
高校生女子の部				
自由形	50m	藤田 瑛里子	(両国高)	29"62
平泳ぎ	50m	藤島 千里	(個人)	◎34"65
バタフライ	50m	岩見 雪華	(かえつ有明高)	◎30"72
背泳ぎ	50m	加藤 ゆり	(第三商業高)	35"54
リレー	200m	スイムチームVIP		2'06"02
一般女子の部				
自由形	50m	山本 麻央	(スイムチームVIP)	30"96
平泳ぎ	50m	金子 楓	(スイムチームVIP)	41"51
バタフライ	50m	山本 緑	(HST)	34"80
背泳ぎ	50m	山本 緑	(HST)	37"32
リレー	200m	スイムチームVIP		2'14"78
メドレー	200m	スイムチームVIP		2'30"12
壮年男子の部				
自由形	50m	仲島 智行	(スイムチームVIP)	28"03
平泳ぎ	50m	村上 知也	(個人)	35"92
バタフライ	50m	仲島 智行	(スイムチームVIP)	30"86
背泳ぎ	50m	西山 欣彰	(JYO-X)	35"30

壮年女子の部				
自由形	50m	岩出 マリ	(東砂SC)	34"62
平泳ぎ	50m	渡部 玲子	(東砂SC)	46"49
バタフライ	50m	岩出 マリ	(東砂SC)	40"16
背泳ぎ	50m	圓川 真弓	(個人)	42"79
水泳総合成績				
	小学生	中学生	高校生	一般
総合	五砂小	深川三中	科学技術高	V I P
男子	枝川小	深川三中		
女子	五砂小	深川三中		
●陸上大会 (大会新記録◎)				
小学生男子の部				
50m		児玉 拓也	(越中島小)	◎8"17
100m		大串 健人	(第二辰巳小)	14"28
4×100m R		越中島小A		59"96
走幅跳		橋本 基紀	(越中島小)	3m72
中学生男子の部				
100m		長島 和範	(第二砂町中)	12"18
200m		長島 和範	(第二砂町中)	24"52
800m		望月 優也	(深川第三中)	2'10"92
3000m		小杉 恒太	(深川第三中)	9'50"08
110m H		上横手 優樹	(深川第二中)	16"67
4×100m R		深川第三中B		47"50
走高跳		藤田 将史	(深川第三中)	1m60
走幅跳		阿曾 史和	(深川第三中)	5m76
砲丸投		高野 航	(深川第三中)	10m95
一般男子の部				
100m		岩見 源太郎	(NewModeAC)	11"16
400m		東 弘樹		53"51
800m		西野 耀一		2'09"44
1500m		治田 寛郎	(NKSHOP)	4'23"37
5000m		治田 寛郎	(NKSHOP)	16'23"74
走高跳		西野 耀一		1m70
走幅跳		岩見 源太郎	(NewModeAC)	7m11
砲丸投		佐藤 一桐	(明治大)	◎14m64
4×100m R		team. OB		46"60
壮年40歳代の部				
5000m		村松 和彦	(プービーズ)	17'54"67
壮年50歳代の部				
5000m		小林 一彦	(ヤマトシステム開発)	18'59"95
壮年60歳以上の部				
5000m		高梨 幹夫	(三陽商会)	20'16"29
小学生女子の部				
50m		岸田 菜津穂	(豊洲北小)	8"83
100m		小林 葵	(亀高小)	14"30
4×100m R		越中島小A		59"12
走幅跳		上野 水緒	(江東JAC)	3m88
中学生女子の部				
100m		小久保 夏花	(かえつ有明中)	13"38
200m		小久保 夏花	(かえつ有明中)	27"42
800m		多喜川 美紀	(深川二中)	2'27"63
100m H		三好 由実	(深川三中)	18"14
4×100m R		第三亀戸中B		53"08
走高跳		三好 由実	(深川三中)	1m40
走幅跳		前田 知子	(深川三中)	4m75
砲丸投		白石 颯希	(辰巳中)	11m37
一般女子の部				
100m		中島 広美	(東京YMCA)	14"43
5000m		酒井 真里	(江東シスターズ)	19'49"82
走高跳		松沢 弘子	(都立墨東病院)	0m90
走幅跳		大原 若菜		4m37
砲丸投		大竹 絵理香	(東京YMCA)	9m46
●剣道				
小学生低学年		小泉 心	(福住)	
小学生高学年		岩原 大河	(福住)	
中学生		保坂 一樹	(福住)	
高校生		山中 優衣	(江少)	
一般三段以下		堀 晃輔	(申体連)	
一般四・五・六段の部		関澤 一祐	(深警)	
団体戦 (高校生)		都立深川高等学校A		
団体戦 (一般)		江東区申体連		

シーサイドマラソン

スポーツ振興課 スポーツ事業担当係長

平成24年11月25日(日)に開催されたシーサイドマラソン大会は、「2020年オリンピック・パラリンピック東京招致、スポーツ祭東京2013PR」として開催され、開会式ではゲストランナーとして、オリンピックのエリック・ワイナイナさん、パラリンピックの高橋勇市さんを紹介しました。また、午前11時20分頃には「ゲストランナー・トークショー」を開催して、東京招致の機運を高めました。さらに、選手受付広場では、オリンピックと同様に、スポーツ祭東京2013のブースを設置して周知を図ったところです。今回は、4,900名を超える参加申込があり、前回大会から「抽選法式」を導入していますが、今回は申込者全員を当選として、4,512名が出走登録されました。開催当日の出走者は3,854名で3,685名が完走しました。当日の天候はスタート時11.5度、前回大会に比べて、0.5度高く、前回大会と同様ランナーにとっては走りやすい環境となったと思います。

今大会は、前回大会に引き続き救急体制を重点においた大会運営となりました。救急車を夢の島競技場、ハーフ折返地点に各1台配置、国土舘AEDモバイル隊は8隊、「緊急カード」を大会役員に配布し、万一のための対策を図りました。さらに、夢の島競技場内の「消防警戒本部」には、城東消防署、国土舘AEDモバイル隊本部機能、競技部の医療・救護係による緊急情報連絡を集約し、的確な指示をするとともに、医務係(江東区医師会)との4者の協力により、傷病者への迅速な対応をすることができました。幸いなことに今大会は、救急車搬送となる参加者がいなかった穏やかな大会ともなりました。マラソン大会は、大会役員だけではなく、社会人や高校生のボランティアがいなければ、スムーズ大会運営とはなりません。選手受付広場には墨田工業高等学校の生徒、江東スポーツ施設運営パートナーズ、7km・11km付近の給水所には深川高校の生徒、14km



付近の給水所には日立公共システムエンジニアリング、夢の島競技場入口付近にはコース整理員としてNECソフトが従事し、270名を超えるボランティアの協力により大会が支えられました。今年で第32回目となりますが、毎年11月最終日曜日に開催される、区内唯一のスポーツイベントでもあり、コース沿道内の区民・事業者の交通規制へのご協力があればこそ開催できる大会であります。

大会結果は次のとおりです。

◎ハーフ(9時15分スタート)
出走者2,397名/完走者2,273名

<優勝者>

一般男子(50歳未満)	
河野 陽一	1時間10分58秒
(JP日本郵政グループ東京)	
一般女子(50歳未満)	1時間21分47秒
田村 幸江(葛西ランナース)	
壮年男子(50歳以上)	1時間21分58秒
塩田 政晴(千代田走友会)	
壮年女子(50歳以上)	1時間38分48秒
庄内 菜穂子	

◎10キロ(9時45分スタート)
出走者1,457名/完走者1,412名

<優勝者>

一般男子(50歳未満)	
渡辺 寿喜	32分38秒
(NTT東京 城東魂1番隊)	
一般女子(50歳未満)	39分08秒
鈴木 美沙都	
(江東区スポーツ会館)	
壮年男子(50歳以上)	
大矢 敏夫(千代田走友会)	35分33秒
壮年女子(50歳以上)	
遠藤 章子	44分16秒
(MC江東シスターズ)	

